

第30回MQI活動

2025年度MQI統一主題

新たな挑戦への一步を共に踏み出そう



発行（公財）練馬総合病院MQI推進委員会
〒176-8530 練馬区旭丘1-24-1
Tel.03-5988-2200（代）

2025年度 MQ I 活動予定表

3/12～4/12	5/24	6/17	7/15	8/5	8/26	9/2	10/22	10/31	11/4	11/10	11/13	12/6	2月
キックオフ （動画配信）	半日で計画を立てる会	チーム別相談会①	チーム別相談会②		チーム別相談会③		予演会	発表スライドメット	発表スライド確認会	発表スライド最終確認	報文集入稿日	発表大会	継続フォローの会



今、この地点です。
活動できる期間はあと少しです！！

※状況により予定が変更になることがあります

チーム別相談会を6、7、8、9月に開催しました

テーマ・チーム名／ 主体部署・リーダー・サブ	チームの活動紹介	担当委員コメント
『こぶし棟1階を利用した運動教室』 チーム名 パラダイスオールスターズ リハビリテーション科 リーダー 青山駿 サブリーダー 志村拓哉	運動教室を開始し、徐々に参加者は増えてきていますが、広報の難しさを実感しました。今後も継続していき、練馬総合病院といえは運動教室となるように頑張っていきたいと思います。 また、今月からは参加者の身体能力測定も開始するため参加者への周知を行っていきたいと思います。	現在、毎週水曜日に運動教室を開催しており、毎回の参加人数も徐々に増えてきている状態です。リピーターの方も増えてきており徐々に定着しつつあるような印象です。実際に開催してみないと分からなかったこともあり、適宜チームで話し合いながら継続して開催できているかと思っています。今後、更なる参加人数の増加や測定会の開催など期待されます。
『保険情報への理解～電子処方箋に対応できる体制づくり～』 チーム名 ホケンノヒト 医事課 リーダー 近藤拓也 サブリーダー 關山恵理	本活動を通して処方箋の保険情報修正を減らすためには、医事課での会計処理の流れを見直す必要があること、不要な保険情報を適切に管理する必要があることに気付くことができました。今まで医師に対し保険情報について説明する機会がありませんでしたが、良いきっかけになりました。成果にも繋がれば幸いです。	今回の活動をすることで、算定をおこなうことが医事課だけでは成り立たないことを再認識しました。活動を通じて各診療科の先生方のご協力を仰ぎながら、患者さんへのサービス向上となれば良いと考えています。今後ともご協力の程よろしくお願いいたします。

テーマ・チーム名／ 主体部署・リーダー・サブ	チームの活動紹介	担当委員コメント
『エコー検査を効率よく 受ける仕組み作り』 チーム名 (UltraSonographer) 臨床検査科 リーダー 藤井健介 サブリーダー 栗原真吾	「現状把握」から、有効に使われていない予約枠があったり、依頼時の連絡有無で対応で左右されたりと、エコー室が効率よく検査を行えていない要因が挙がりました。検査室の業務改善を目的に活動していますが、患者さんの負担や来院回数が増えては本末転倒です。検査予約が取りやすく、かつ緊急の症例にも柔軟に対応できるような体制を構築すべく活動してまいります。	今回の検査科チームは、検査数の増加に伴う、逼迫するエコー業務を改善し効率化することを目指しています。予約枠の見直しや、電話連絡の標準化、術前エコーの調整などを対策とし、人・場所・時間などの問題を乗り越えより良い活動となる様に努力していきます。関連部署の方々にはお手数をおかけしますが、ご協力よろしく願いいたします。
『肥満症治療に チームで取り組む』 チーム名 チームボチャッコ 薬剤科 リーダー 関口このは サブリーダー 沼口隆太郎	肥満症治療薬開始に向け、カルテテンプレートや治療計画が揃い、活用を開始しました。 今後は、院内・外へ活動を周知していき、対象患者さんを治療へ繋げられるようにしていきたいと考えています。院外向けの勉強会も予定されているため、興味がある方はぜひご参加ください。	今回、「肥満症治療」にチームで取り組んでいます。新しい業務であるため、担当者が業務内容を理解し、現在の運用を定着させることが大切です。また、各診療科へ活動を説明し、対象患者さんを紹介してもらうことや、院外へ活動を周知し、新たな患者さんを受け入れていくことも、活動の継続に繋がります。今回の活動が軌道に乗るよう、チームの活動を支援していきたいと思います。
『予約外検査体制の構築と MRI予約待機期間の短縮』 チーム名 ラジエーションハウス 放射線科 リーダー 岡村春菜 サブリーダー 田頭崇 安田恵里佳	MRI検査の予約をとりやすくするために予約枠の見直しを行い、8月から新しい予約枠が稼働しています。 これまでは予約をしてから3週間以上お待ちいただいていたましたが、現在はより早くご予約いただけるようになっています。今後も患者さんが安心して検査をうけられる体制を整えていきたいと考えています。	需要の増加に伴いMRIの検査数が増えてきており、外来の患者さんを中心に予約が取りづらい状況が続いています。この活動を通して柔軟な受け入れ体制を提案・構築することによって、1日の検査数を増やすことができる見込みです。 細かな変更事項が多く関連部署にはお手数をおかけしますが、ご協力をよろしくお願いいたします。
『In Circle talkの運用を 決め、多職種から医師へ の連絡に活用する』 チーム名 つながらな～す 看護部 リーダー 三好翔太 サブリーダー 矢部紅葉	アンケート結果から医師・多職種ともに、インサークルの認知度は高いが、使用方法が浸透していないことが分かりました。医師と看護師含め多職種ともにインサークルでも可能な連絡事項が共通しているものがあり、これらをインサークルで実施出来れば、業務の効率化が図れるのではないかと考えました。今後、インサークルの利用を推進するためには「インサークルの使用方法的周知」「マニュアルの明確化」が必要であると考えています。	院内の新たな連絡方法としてIn Circleを活用することで、多忙な医師と多職種間でお互いの業務を遮ることなく必要な連絡が必要な時にできるようになります。現在はIn Circleで効率的かつ安全に連絡ができる内容を検討しながら、段階的に運用を開始します。実際にIn Circle使用してみた感想やご意見をお聞かせください。
『経鼻内視鏡検査の 苦痛軽減を目指す』 チーム名 はなセレブ♪ 内視鏡センター リーダー 堀川由佳 サブリーダー 生沼恭平	経鼻内視鏡検査の身体的・精神的苦痛を少しでも軽減できるよう活動しております。苦痛の緩和のため8月から前処置方法を変更し苦痛度の調査及び評価を行います。また事前に経鼻内視鏡検査について情報提供を行う体制作りを考えていきたいと思っています。受診者及び患者さんができるだけ安心して内視鏡検査を受けて頂けるように一同頑張ります！	検査方法の選択により安全に苦痛軽減出来るように情報提供を行っていくことを目指しています。この活動によってより多く経鼻内視鏡を選択して頂けると思っております。また、臨床研究の承認も得たのでご協力をお願い致します。

半日で計画を立てる会から、約4か月が経過しようとしています。
各チームの進捗状況はいかがでしょうか？活動が停滞している場合には、
MQI推進委員会で相談することもできるので担当推進委員に確認してみてください。